

【重要】令和 10 年度 大学院工学研究科 地球系 3 専攻の改組(予定)及び試験科目変更について(予告)

工学研究科では、令和 10 年度から、次のとおり組織再編(一部専攻の統合)を計画しています。**(この計画は、設置構想中であり、内容に変更が生じることがあります。)**

なお、万が一、本組織再編が認められなかった場合(あるいは認可が遅れた場合)は、現行の 3 専攻(社会基盤工学、都市社会工学、都市環境工学)の区分のまま、本予告に記載する新たな試験科目および配点等に準じて入試を実施します。

○ **組織再編計画**

現行の工学研究科に属する 11 の専攻のうち 3 専攻(社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻、都市環境工学専攻)を統合し、新たに「地球工学専攻」を設置する。

〈現行〉工学研究科(11 専攻)	〈組織再編後〉工学研究科(9 専攻)
社会基盤工学専攻	地球工学専攻
都市社会工学専攻	
都市環境工学専攻	
建築学専攻	建築学専攻
機械理工学専攻	機械理工学専攻
マイクロエンジニアリング専攻	マイクロエンジニアリング専攻
航空宇宙工学専攻	航空宇宙工学専攻
原子核工学専攻	原子核工学専攻
材料工学専攻	材料工学専攻
電気電子デジタル理工学専攻	電気電子デジタル理工学専攻
化学理工学専攻	化学理工学専攻

○ **令和 10 年度修士課程入学試験の受験区分及び試験科目の取り扱いの変更について**

地球工学専攻への改組に伴い、入試区分を統合し、試験科目および配点を以下の通り変更して実施します。一般学力選考、特別選考とも、英語の能力については TOEFL、TOEIC、IELTS などの外部試験の成績を用います。

1. 一般学力選考 変更前・変更後 比較表

項目	【変更前】令和 9 年度入学試験まで 社会基盤・都市社会系	【変更前】令和 9 年度入学試験まで 都市環境工学専攻	【変更後】令和 10 年度入学試験以降 地球工学専攻(新設・統合)
合計点	1000 点満点	1000 点満点	1200 点満点
英語	200 点	200 点	200 点
数学等	数学・物理(力学): 200 点	数学: 200 点 学部成績: 200 点	数学: 200 点
専門	600 点	400 点	800 点
専門対象科目	構造力学、水理学、土質力学、計画理論、資源工学	専門語句説明問題、環境物理学、環境化学、環境生物学	物理(力学)[1 題]、構造力学[1 題]、水理学[1 題]、土質力学[1 題]、計画理論[1 題]、資源工学[1 題]、環境物理 [2 題]、環境化学 [2 題]、環境生物 [2 題](計 12 題)
科目選択の注意事項	上記 5 科目から 3 科目を選択	・必須: 語句説明について 6 題すべて解答 ・選択: 3 科目より出題される計 6 題から 3 題を選択	・計 12 題のうちから 4 題を選択 ・※志望する分野に応じて、特定の科目(「資源工学」等)の解答を必須とする

※変更点:

- ・両区分とも、合計満点が 1,000 点から 1,200 点に引き上げられます。英語(200 点)および数学(200 点)の配点は維持されつつ、専門科目の配点が 800 点に拡大します。また、旧・都市環境工学専攻において課されていた「学部成績(200 点)」による評価は廃止されます。
- ・旧・社会基盤・都市社会系の 5 科目と、旧・都市環境工学専攻の環境系科目群が統合され、計 9 科目・12 題の共通出題となります。解答方式は、この 12 題の中から「4 題を選択」する形式に統一されます。
- ・旧・都市環境工学専攻で課されていた「語句説明問題(6 題すべて必須)」などのルールは撤廃されます。また、受験者の志望する分野(旧専攻に相当する分野等)に応じて、「資源工学」など、特定の専門科目の解答が必須として指定されます。
- ・旧・社会基盤・都市社会系で基礎科目として課されていた「数学・物理(力学)」の枠組みが見直され、「数学」のみが独立した基礎科目(200 点)となります。「物理(力学)」は専門科目(12 題のうちの 1 題)へ移行します。

2. 学科外別途選考Ⅰ型(主に旧 社会基盤・都市社会系)の変更点

工学部地球工学科以外の土木・環境・資源系学科卒業者を対象とした選考枠です。

項目	【変更前】令和 9 年度入学試験まで (旧 社会基盤・都市社会系)	【変更後】令和 10 年度入学試験以降 (新設・地球工学専攻)
合計点	1000 点満点	1200 点満点
英語	200 点	200 点
数学等	数学・物理(力学): 300 点	数学: 250 点
専門	500 点	750 点
専門対象 科目	構造力学、水理学、土質力学、計画 理論、資源工学	物理(力学)、構造力学、水理学、土質力学、計 画理論、資源工学、環境物理、環境化学、環境 生物(一般学力選考と同じ 9 科目・計 12 題)
科目選択 の注意事 項	上記 5 科目から 2 科目 を選択	・計 12 題のうちから 3 題 を選択 ・ただし、必ず「物理(力学)」を選択すること

※変更点: 全体の満点が 1200 点に引き上げられます。また、選択できる専門科目の出題範囲が一般学力選考と同様の 9 科目(12 題)に拡大し、3 題の選択(うち「物理(力学)」必須)に変更されます。

3. 特別選考(旧 都市環境工学専攻の枠組み)の変更点

旧 都市環境工学専攻の表に記載されている特別選考の変更点です。

項目	【変更前】令和 9 年度入学試験まで (旧 都市環境工学専攻)	【変更後】令和 10 年度入学試験以降 (新設・地球工学専攻)
合計点	1000 点満点	1200 点満点
英語	200 点	200 点
専門科目 / 学力試験	800 点・学部成績: 200 点・数学または 専門: 200 点・小論文及び口頭試問: 400 点	1000 点・数学または専門: 400 点・小論文及 び口頭試問: 600 点
科目選択の 注意事項	・数学、専門のうち一方、あるいは両 方を選択(両方の場合は高得点を採用)・専門を選択する場合は 1. 一般 学力選考と同じ要領で解答	同左 (※専門を選択する場合は 1. 一般学力選考 の【変更後】と同じ要領で解答)

※変更点: 評価項目から「学部成績(200 点)」が廃止され、「数学または専門」の配点が 200 点から 400 点に引き上げ、小論文及び口頭試問が 400 点から 600 点に引き上げられます。

詳細については令和 9 年 4 月中旬に公開予定の令和 10 年度学生募集要項にて公表しますので、必ずご確認ください。